

群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

馬電トピックス

新生馬電 黒字化の結実

黒字化の達成。ただの数字ではなく、馬電で働く従業員の成果の結実を意味する。辛酸を舐めた構造改革に打ち勝った馬電。「翔馬」。更なる飛躍を目指して。

● 足掛け4年目の黒字化

馬電経営改革キャンペーン「目指せ NO.1 の給湯機製作所 品質力 NO.1 製品力 NO.1 開発力 NO.1」の下、2005年度に蒔いた種を大事に育て、足掛け4年。ついに2008年度黒字化を達成し、馬電構造改革にピリオドを打つことができた。「2007～2008年の素材高騰」や「2008年度のリーマンショックに始まる世界的金融不況」等、市場環境の逆風にも負けず、それは馬電構内に真っ直ぐに天を仰ぎ、隆々と根を張るヒマラヤスギのように育った。

第5代馬電所長:神谷所長は、馬電30周年記念の際に埋められたタイムカプセル(50周年記念に開封)に次の書を収めていた。

「壮(つよ)き日の 血潮たぎりし
シーダの木(ヒマラヤスギ)」

図らずしも、馬電が50周年を迎えるときに黒字化を達成したことの意味は大きい。

ヒマラヤスギの太く立派な幹は、壮(つよ)く群馬の地に根付く馬電を象徴する木に見えた。

● 給湯機事業の更なる飛躍と

馬電地区の繁栄を目指して

2009年度の経済環境は、2008年リーマンブラザーズ破綻に端を発した世界金融不況から立ち直りを見ない。住宅着工件数の回復及び伸張が見えない中、当初想定されていたエコキュート市場の需

要は大きく下方修正されつつある。新生馬電の第1ステージは2008年度黒字化の達成によってピリオドを打つことができた。第2ステージは黒字化の継続と給湯機事業の更なる成長である。

長谷川所長は、2008年度の黒字化達成を踏まえ、2009年度以降の更なる飛躍に向け馬電が目指すことは、①馬電のアキレス腱たる品質の改善、②商品提案力を磨き開発のスピードアップ、③販売ルートの新なる拡大によるエコキュートの規模とシェアの拡大、と訓示した。この3つの課題の根底にあるのは、「エコキュート市場で必ず勝者になる」という決意。他社を凌駕し、三菱の名を市場に轟かすことこそ、給湯機事業の更なる飛躍と馬電の繁栄を約束する。新生馬電は新たな目標に向け、その視線は壮(つよ)く高く躍動する翔馬を見ている。

更にその先には、新たな事業の創出と第二の基幹事業があるのかもしれない。今、注目されているエコビジネス。その中でも特に大きく伸長しているエコキュートをステップにし、第2のエコビジネスの可能性もある。多様な製品を開発してきた馬電。給湯機事業というバトンを通じて今でも脈々と受け継がれているその風土とチャレンジ精神は、馬電に飛躍を可能にする。

< 馬電50周年記念誌より >

菱の実会ホームページ情報

【 菱の実会だよりバックナンバー集 】

群馬菱の実だより200号達成を記念して、現在、過去の菱の実会だより全200号の取りまとめ作業を行っております。まず本紙収集から始まり、それを一頁ずつスキャナーでパソコンに取り込み、PDFというフォーマットに変換して一号ずつ結合し、そのデジタルデータを「Windows Live SkyDrive」という外部サイトにアップロード・保存するという膨大な作業です。

保管容量も膨大になりますが、「Windows Live SkyDrive」というサービスは、マイクロソフトが提供する大容量のファイル共有サービスで、25ギガバイトまで無料で利用できるサイトです。

当面創刊第1号から75号までと、162号から最新号までを収録しました。出来るだけ早く全号取り揃えたいと思います。欠けている号をお持ちでしたらご提供下さるようお願い致します。

これが完成すると、過去18年間の菱の実会だよりと、菱の実会の歴史・変遷がわかる一大アーカイブが出来上ります。菱の実会ホームページからご覧頂けますので、ぜひご覧下さい。

【 新入会員紹介 】

市川 勝さん (平成22年5月入会)

太田市武蔵島町



<社内経歴自己紹介>

1961年04月 入社 (工作部油工課 プレス係)
 1995年10月 販売会社 関越テクノトップ 出向
 1999年04月 馬電に戻り 営業部給営課 所属
 2000年04月 株式会社 ミヨシ 出向
 2004年09月 腎臓癌で入院、手術、治療で約1年間入退院
 2005年03月 退社 (病気の関係もあり定年1年前退社)

<近況>

現在は、健康のため毎日1時間程度のウォーキングと、ほんの少しの家庭菜園、そして、ガーデニング、国内外の旅行などを楽しんでおります。病気の関係で入会が遅れましたが、皆さんどうぞ宜しくお願い致します。

このほかに、今年4月以降 次の方々が菱の実会に入会されました。

蔵本 晴行さん、尾花久子さん、大沢 和夫さん。



美しいお花有難うございました。これからも健康に気をつけ、人生心地良く楽しみたいと思います

5月吉日 古川 薫

寒い冬の日、伊勢崎市利根川の坂東大橋上で見えない赤城山を背にパチリ



第46回 ゴルフ愛好会コンペ報告



順位	氏名	GRS	NET
優勝	萩原十四夫	81	69.0
準優勝	関根 詔三	90	69.6
3位	田口 勝也	83	71.0
4位	岡部 勇	83	71.0
5位	竹沢 宏	79	71.8
6位	加藤 忠雄	85	71.8
7位	境野 賢治	89	72.2
8位	寒梅 達男	88	72.4
9位	中村 晴三	80	72.8
10位	森尻 政美	98	72.8

平成22年6月1日(火)に上武ゴルフ場に於いて、第46回菱の実会ゴルフ大会を実施しました。今回は梅雨入り前で天候が心配されましたが、快晴で気温も上がり夏日になりましたが、時折吹く風が気持ち良く、まさにゴルフのトップシーズンを思わせる良いコンディションで実施されました。今回は34名の参加で盛大に行われました。結果は終始安定したゴルフをした萩原さんが優勝しました。ご協力に感謝いたします。次回の大会は、10年8月6日(金)を予定しています。(大間々カントリー倶楽部)

● 今月の「歌だより」： 【 酒場すずめ 】 村上幸子、和田青児 菱の実会ホームページからどうぞ

【サラリーマン川柳 歴代第一位作品より】
 ・ ・ ・
 『空気読め！ それより部下の気持ち読め！』

【 会員投稿 】 介護から学んだ

呆けないための「カキクケコ」

篠崎 辰夫

もう20年位前のこと、おやじの認知症(当時は痴呆症)の介護で大変苦労した。その体験を体験記にまとめホームページで公開したところ大きな反響を呼び、読者のすすめもあって単行本にして出版した。それがきっかけで各地の公民館や施設から体験談講演の依頼が飛び込んできて講演デビューし、しばらく定年後の活動の場となった。

そのおやじが亡くなって15年、こんどはおふくろの介護の番がまわってきた。今年97歳になる。ずっと丈夫できたが2年ほど前に家の前の道路で転んで大腿骨を骨折して入院。医者は高齢のため手術をためらったが、手術をして奇跡的に回復した。しかし認知症がはじまった。

その後、昨年夏頃から急に食欲がなくなり、食べた物を戻したりして黄疸がひどくなる。今日か明日かの状態が続いたが、ここでも奇跡的に回復した。しかし認知症の方がさらに進んで問題行動がはげしくなり、目が離せなくなった。

今、ふだんはデイサービス施設に行き、昼間は助かっているが、朝・晩、目が離せない。ちょっと油断するとすぐに外に出て道の真中を歩いている。前は見てもうしろは見ない。朝早くねまきのままうろついている。家にいるとやることなく、寝るか食べるか。夜中に何回も起きてゴソゴソ戸締まりの確認に歩きまわる。こちらまで寝むれなくなる。

今やったことはすぐ忘れるが、不思議と昔のことは断片的に良く覚えている。その断片的な記憶をつなぎ合わせておかしなストーリーを作り、自慢話が始まる。日によって登場人物や場所が変わる。妄想と現実の世界。知らない人は本当にするだろう。介護認定の面接では一生懸命がんばる。得意の自慢話をペラペラ。現在「要介護3」で、月に約26万円分のサービスが受けられるが、その認定値が下がらないかとそばでハラハラ。

あの気丈夫だったおふくろが・・・と 一抹の寂しさを感じるが、脳は衰えても 足・腰・口は達者だ。この調子では、100歳までいくかも知れない。

実はやっかいなことに、もう一人介護している人がいる。遠い親戚筋の人で、ずっと糖尿病に腎臓、心臓、緑内障を患い車椅子生活で入退院を繰り返している。妻子がなく、兄弟は遠くにいて一人暮らしの可哀想な人。仕方なく私の女房がその人の手足となって面倒を見ているが、こちらの介護が大変で、具合が悪くなると休みも夜中もかまわず呼び出される。おふくろより手がかかる。

おかげですっかり自由を奪われ、このところ旅行もゴルフもおあずけ。つき合いも断らざるを得ない。そこまでの義理はないが、やる人がいないので仕方がない。まあ介護されるより、介護する方がしあわせと考えるより仕様がな。こども手当もいいが、「介護手当」も考えて欲しい。

このようにさまざまな介護に直面して思うことは、絶対にあのようにはなりたくない。まわりに迷惑をかけたくない。人間呆けたらおしまい・・・。

そこで、介護から学んだ呆けないためのキーワードをご紹介します。「備えあれば患(うれ)えなし」。

＜呆けないための カ・キ・ク・ケ・コ＞

「カ」・・・ 感動 / 感激

「キ」・・・ 興味 / 緊張

「ク」・・・ 工夫 / 苦心

「ケ」・・・ 健康 / 敬労

「コ」・・・ 好奇心 / 向上心 / 行動力

「感動・感激」の数だけ若返るといわれている。たくさん感動・感激しよう / 何事にも「興味」を持とう / 適度な「緊張感」を持とう / 同じことの繰り返しでなく「工夫」をしよう / 楽をしようとしなない / 「健康第一」 / お年寄りを「敬」おう。結果として自分に返ってくる / 常に新しいことへの「好奇心」を持とう / 昨日より今日、今日より明日への「向上心」を持とう / 口動力(口ばっかり)でなく「行動力」。

菱の実会は、呆けないための「い〜いクスリ」です。いつまでも介護されないよう、健康で呆け知らずの人生を全うしようではありませんか。

＜編集追記＞ 介護の問題は、皆さんにとっても明日は我が身の避けて通れない切実な問題ではないでしょうか。今後「介護」をテーマにした投稿や情報を掲載し、皆さんの参考にしていきたいと思います。皆さんの介護体験や質問、困まっていること、提言、などをぜひ投稿下さるようお願い致します。

